



冬のボーナスカットを許さないぞ！シリーズ⑤

経営が厳しいと言うのなら

無駄な投資＝リニア建設 まずは を中止すべき！

会社は、協約改訂団体交渉の回答時の挨拶で「赤字決算になるなど過去に前例のない極めて厳しい局面を迎えている。今後も先を見通すことは難しく、一段と厳しい経営環境になることを覚悟する必要がある」と述べました。

JR東海労は、新型コロナウイルスの影響で厳しい状況にあることは否定しませんが、そのことを理由にボーナスの減額を含めた組合員、社員へのしわ寄せを絶対に許しません。本部は、団交の場でも「リニアにかける金があるにもかかわらず、ボーナスを削減することは断じて許さない」と主張してきました。

厳しい環境下でやるべきことは、まずは無駄な投資をやめることです。その最たるものがリニア建設です。現在リニアは、建設の見通しが立たず、建設費の捻出も困難な状況です。できたとしてもペイできない代物です。このようなお荷物が今後の一段と厳しい経営環境のもとで必要でしょうか。まして、そのような無駄な投資をしている一方において、ボーナスを減額する理由は一切ありません。

JR東海労は、冬のボーナスを減額する前にリニア建設の中止を求めます。

JR東海労はコロナ禍を理由に労働者へ 我慢と犠牲を強いる会社を許しません！